

あとがき

本書は、日頃は政治にあまり関心がない人々、あるいは政治学に初めて接する人々を読者として想定している。本書の執筆者は、編者の一人、平井を除けば研究者として脂がのりつつある中堅研究者である。初学者にわかりやすくという命題と、だがしかし政治学の基礎をしつかりとという二つの命題を両立させるのは、言うは易し行うは難しである。打ち合わせ会での議論や編者と執筆者間でのやり取りを通して、一人ひとりの個性を尊重しながらも、一つのまとまつたテキストに編み上げていく作業を経て、ようやく完成にたどり着いた。デザイナーのいのうえしんぢさんには、カバーをはじめ本書の内容と響きあうステキな各部の扉のデザインを提供していただいた。

こうしてでき上がった本書であるが、手にとつていただいた読者の方々には、この本との出会いをきっかけに、政治や政治学に対する関心をもつていただければ幸いである。最後になるが、時に右往左往し時に息切れしそうになつた二人の編者が何とかゴールにたどり着けたのは、法律文化社の田靡純子氏が本書の完成まで粘り強く、かつ厳しい伴走者の役割を担つてくださつたおかげである。

二〇一八年一二月

平井 一臣
土肥 純嗣